

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-514704(P2017-514704A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-518119(P2016-518119)

【国際特許分類】

B 24 D 11/00 (2006.01)

B 24 D 3/28 (2006.01)

B 24 D 3/00 (2006.01)

B 24 D 15/04 (2006.01)

【F I】

B 24 D 11/00 B

B 24 D 3/28

B 24 D 3/00 3 5 0

B 24 D 15/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日(2018.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1及び第2の対向する主表面を有し、ポリウレタンを含む、一体型バッキングと、該一体型バッキング上に配置され、該一体型バッキングに固定された研磨層と、を含む、可撓性研磨物品であって、

該バッキングは、平均厚さが4～6 milであり、引張強度が500～3200 psiであり、極限伸度が230～530パーセントであり、

該研磨層は、

該一体型バッキングの該第1の主表面の少なくとも一部分の上に配置されたメーク層であって、該メーク層は、少なくとも1種のポリエポキシド及び少なくとも1種の多官能(メタ)アクリレートを含む成分の重合反応生成物を含む、メーク層と、

該メーク層に固定された研磨材粒子と、

該メーク層及び該研磨材粒子の少なくとも一部分の上に配置されたサイズ層と、を含み、

前記サイズ層の前駆体は、少なくとも1種のポリエポキシド及び少なくとも1種の多官能(メタ)アクリレートを含む成分の重合反応生成物を含み、

該一体型バッキングの該第2の主表面は、該可撓性研磨物品の外側主表面を形成する、可撓性研磨物品。

【請求項2】

前記研磨材粒子は、公称寸法等級がANSI等級P80以下又はANSI等級P320以上である、請求項1に記載の可撓性研磨物品。

【請求項3】

前記バッキングの平均厚さは、4.5～5.5 milである、請求項1又は2に記載の可撓性研磨物品。

【請求項 4】

前記可撓性研磨物品は、半透明である、請求項1～3のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

【請求項 5】

前記サイズ層の少なくとも一部分の上に配置されたスーパーサイズ層を更に含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

【請求項 6】

前記バッキングは、最大引張強度が1000～2500psiであり、最大極限伸度が300～460パーセントである、請求項1～5のいずれか一項に記載の可撓性研磨物品。

【請求項 7】

第1及び第2の対向する主表面を有し、ポリウレタンを含む、一体型バッキングと、該一体型バッキング上に配置され、該一体型バッキングに固定された、研磨層と、を含む、可撓性研磨物品であって、

該一体型バッキングは、平均厚さが4～6milであり、

該研磨層は、

該一体型バッキングの該第1の主表面の少なくとも一部分の上に配置されたマーク層であって、該マーク層は、少なくとも1種のポリエポキシド及び少なくとも1種の多官能(メタ)アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含む、マーク層と、

該マーク層に固定された研磨材粒子と、

該マーク層及び該研磨材粒子の少なくとも一部分の上に配置されたサイズ層と、を含み、

前記サイズ層の前駆体は、少なくとも1種のポリエポキシド及び少なくとも1種の多官能(メタ)アクリレートを含む成分の重合化反応生成物を含み、

該一体型バッキングの該第2の主表面は、該可撓性研磨物品の外側主表面を形成し、

該可撓性研磨物品は、引張強度が400～2400psi(2.8～16.5MPa)であり、極限伸度が180～380パーセントである、可撓性研磨物品。